

おだわら環境志民ネットワーク 設立の趣旨

～「寄木（寄気）」をキャッチフレーズに、人・取組・森里川海をつなげる～

小田原は、箱根連山につながる緑豊かな山地、梅香る曾我丘陵、足柄平野の田園地帯を潤す酒匂川、滋養ある真水が豊富に注ぎ込む相模湾に囲まれる自然豊かな地域です。木々の香り、鳥のさえずり、虫の鳴き声、川のせせらぎ、草花の彩り、ホタルの光など、四季折々の自然の美しさに溢れています。

こうした森・里・川・海の自然は、水や栄養素の循環でつながり、相互に支え合って存在しています。

そのつながりは、きれいな水や空気、美味しい食べものなど、私たちの暮らしを支える様々な恵みをもたらすとともに、寄木細工などの木工業や定置網漁・蒲鉾に代表される水産業などの地場産業や文化を生み出し、小田原の発展の基礎となりました。

しかし、近年では過度の開発や生活スタイルの変化による自然の管理不足により、森里川海のごつながりは薄れ、その美しさや豊かさが損なわれつつあります。

川上では自然林が減少し、手入れ不足の人工林や耕作放棄地が広がっています。川下では湿地やたんぼが減少しています。海では砂や真水の流入が減少し、かつては豊富に獲れた魚が姿を消しています。

私たちは未来を見据え、子どもたちに美しく豊かな自然を残すために、新たな組織「おだわら環境志民ネットワーク」を立ち上げます。

小田原には美しく豊かな自然を守り育てようと取り組んでいる熱意ある人々がたくさんいます。おだわら環境志民ネットワークは、こうした人たちの協力体制を築きます。各団体・個人が、「寄木（寄気）」のように心を一つにして、小田原の美しく豊かな自然を守り育てることにより、誰もが「自然豊かな小田原で暮らせる喜び」を感じられる地域の実現を目指します。

また、このために、地域、学術、関係機関と連携し、小田原全体の環境をともに考え、ともに活動することのできる、自立的・持続的な組織への発展を目指します。

■その1 集う・語る・支える ～共通理解、協働活動への展開～

具体的には、自然を守り育てている人たちが集い、語り合っ、その胸に抱く喜び・悩み・期待・不安などの思いを共有できる機会をつくりま。

■その2 調べる・学ぶ ～調査研究とスキルアップ～

地域内外の先進的な取組や専門的な技術、身近な自然や地域のことなどを、ともに調べ、ともに学ぶ機会をつくりま。

思いの共有は、それぞれが抱える課題の解決や、新たな目標の設定へとつながります。また、ともに調べ学ぶことで、新たな発見や個々の大きなスキルアップなどが期待できます。結果的に、これまで各団体・個人が行ってきた取組が充実するとともに、各団体・個人が協働して新たな活動がスタートすることにつながります。

■その3 育てる・伝える ～担い手の育成～

環境学習や自然観察会、エコツーリズムなどを開催し、森里川海の恵みの大切さや、自然を守り育てる活動の必要性を多くの人に丁寧に伝えます。

加えて、生業として森里川海に関わる人たち（第一次産業）とのこれまで以上の協力関係の構築、自然環境への意識を高めるための啓発・広報活動などにも取り組んでいきます。

こうした取組は、自然を将来にわたって守り育てるための新たな担い手を生み出します。

森里川海の恵みを最大限引き出し、後世に引き継ぐ。それは、今を生きる私たちの使命であり、美しく豊かな自然に恵まれた小田原の使命でもあります。

決して簡単な挑戦ではありませんが、心を一つにして、小田原の「財産」とも言える人・取組・森里川海を結集すれば、小田原の未来を明るく照らすことができるはずです。そして、そのような小田原の姿が、日本社会の希望となることが、おだわら環境志民ネットワークの願いでもあります。

平成28年3月28日

発起人

- 加藤 憲一 (小田原市長)
- 鈴木 博晶 (元・環境(エコ)シティ コーディネーター)
- 西島 摩瑳頭 (小田原市環境ボランティア協会 会長)
- 近藤 忠 (和留沢わくワーク村実行委員会 会長)
- 川島 範子 (ブリの森づくりプロジェクト 会長、小田原山盛の会 副会長)
- 兵頭 昌雄 (小田原山盛の会 会長)
- 山本 和子 (小田原森のなかま 会長)
- 頼 ウメ子 (日本野鳥の会・サシバプロジェクトチーム 代表)
- 伊豆川 哲也 (日本野鳥の会・サシバプロジェクトチーム)
- 星野 清治 (美しい久野里地里山協議会 会長)
- 石井 智子 (美しい久野里地里山協議会 事務局長)
- 二宮 義 (金次郎のふる里を守る会 会長)
- 黒柳 昭平 (金次郎のふる里を守る会 事務長)
- 山根 敬彦 (曾我山応援隊 会長)
- 磯崎 崇 (曾我山応援隊 副会長)
- 山田 純 (めだかサポーターの会 会長)
- 志村 成則 (小田原足柄異業種交流勉強会 コアメンバー)
- 辻村 百樹 (株式会社 T-FORESTRY 代表取締役)
- 近藤 増男 (有限会社 小田原植木 代表取締役)
- 鈴木 伸幸 (FM小田原 株式会社 代表取締役)
- 石戸谷 博範 (平塚総合海洋実験場 博士<農学>、
元・神奈川県水産技術センター相模湾試験場 場長)
- 瀬戸 正功 (おだわら環境プラットフォーム(仮称) 市民スタッフ)
- 田先 啓 (おだわら環境プラットフォーム(仮称) 市民スタッフ)
- 播摩 信之 (おだわら環境プラットフォーム(仮称) 市民スタッフ)